

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
ここに、2019年度(第95期)上期における
当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

第95期 中間 ビジネスレポート

2019年4月1日～2019年9月30日

2019年11月

代表取締役社長 **池田隆之**

事業の概況

当社グループは「グローバルワンストップソリューション企業」を目指し、「原価低減加速、生産性向上による安定収益体制の構築」、「コアビジネスによる市場先行」及び「ソリューション・サービス事業拡大」に鋭意努めてまいりました。

売上高につきましては、海外市場向けPOSシステムは減少しましたが、国内市場向けPOSシステムが増加したことなどから、2,499億7百万円（前年同期比6%増）となりました。また損益につきましては、海外市場向けPOSシステムの損益悪化はありましたが、国内市場向けPOSシステムが大幅増益となったことなどから、営業利益は101億74百万円（前年同期比42%増）、経常利益は96億75百万円（前年同期比64%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は78億89百万円（前年同期比83%増）となりました。

通期の見通し

国内市場向けPOSシステムは、人手不足などを背景に、省人化対応商品への需要が堅調に推移する見込みです。一方、海外市場向けPOSシステム及びプリンティングソリューション事業では、主力商品の拡販、トータルソリューションの提供に向けた戦略商品の開発・投入、地域に即した営業・マーケティングの展開及び、構造改革による固定費削減の推進により事業拡大と収益体質の強化を進めてまいります。

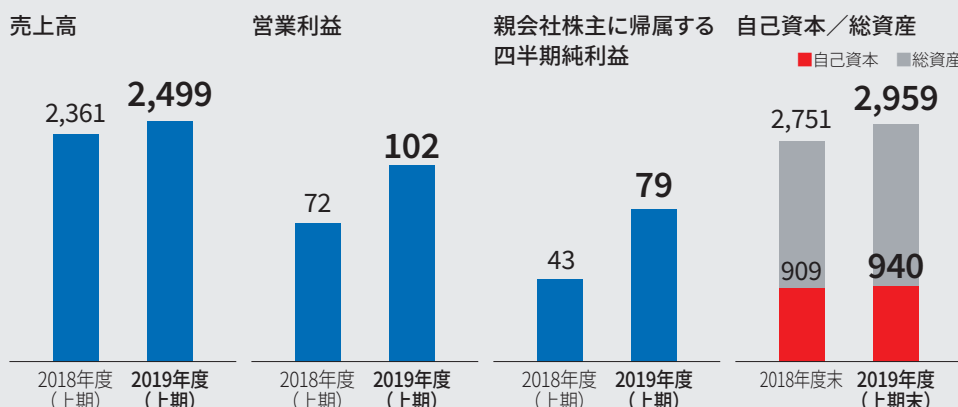
2019年度の連結業績予想は、上記方針等をふま次のとおり見込んでおります。

2019年度上期の連結業績

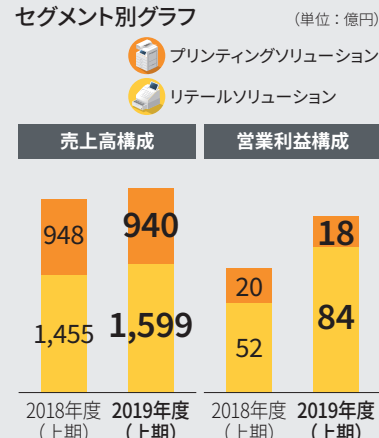
	2019年度上期	2019年度通期の予想
売上高	2,499億円	4,800億円
営業利益	102億円	200億円
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	79億円	120億円



連結業績ハイライト



セグメント別グラフ



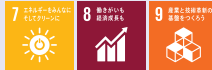
東芝テックカレンダー 2019

上期のトピックス 月の区分は原則としてトピックスの発表月です。

5月



ラベルプリンタ 「BA400シリーズ」を発売



「BA400シリーズ」はお客様から高い評価を頂いた「B-SA4T」の後継機で、新たにパーツライフアラート機能*を搭載し、最高印字速度を30%向上させました。製造業、物流業向けのメタルボディの「BA410T」と、流通業向けのプラスチックボディの「BA420T」の2シリーズ構成です。



* 走行距離により、寿命部品告知を行います。

5月



RFIDショールーム&ラボ 「TEC UX Lab」を開設



4月 APR

店舗システム「PrimeStore」の設定を本部から一括配信できるクラウドシステム「PrimeOperator」を発売



7月 JUL

スタイリッシュなデザインに生まれ変わった省スペースタイプの事務用コンピュータ「事務コン SJ-9000」を発売

4月

5月

6月

9月



小型スキャナ 「IS-200シリーズ」を発売



カート型セルフレジ用小型スキャナ「IS-200-C-S」は従来のハンズスキャナの運用と比べて、ハンズフリーでスピーディな運用が可能となり、スキャン効率を高めることができます。また、「IS-200-G-24S-S」はスタンドを取り外すことで平置きが可能となり、商品スキャンに加えて、消費者のスマートフォンに表示されたバーコードやQRコードをスキャンする端末としても利用できます。



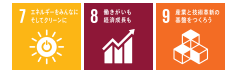
カート型セルフレジ向けスキャナ「IS-200-C-S」設置イメージ (カートは別売りとなります。)

スタンド付きモデル「IS-200-G-24S-S」設置イメージ



トピックス

モノクロ複合機 「e-STUDIO2329A」を発売



コンパクトな筐体に、コピー、プリンタ、スキャナ、FAX*の4つの機能を搭載したA3サイズ対応 モノクロ複合機「e-STUDIO2329A」を2019年11月中旬に発売いたします。

e-STUDIO2329Aは「e-BRIDGE Print & Capture Lite」を利用し、タブレット端末やスマートフォンから直接印刷指示や、クラウドへスキャンデータの保存ができます。また、セキュアな環境を保ちつつ、社内LANに接続できない端末からも、本機に出力させることができるAPモードを新たに搭載し、急な印刷の要望にもフレキシブルに対応できます。

*オプション対応です。





RFIDは検品や棚卸業務の省人化が見込めることから、アパレル業を中心にさまざまな業界で導入が進んでおります。製造・物流・店舗それぞれの現場でのRFIDには多様な使い方があり、全ての現場の活用を検討するには多くの労力や時間がかかっておりました。このような課題に対して、製造・物流・店舗それぞれの現場で活用いただける機器を一箇所に集め、お客様の実際の商品にてRFIDの効果を検証し、効果を体験していただくことができるRFIDショールーム&ラボを開設いたしました。



7月 飲食店における音声認識を活用したセルフオーダーの実証実験



実証実験では、お客様自身で簡単にオーダーができるセルフオーダーシステム「RelaxOrder」に、お客様の声でメニュー検索する機能を追加しました。お客様は音声を使うことでメニューを探す手間が減り、店舗スタッフは、お客様からのメニューに関する問合せが減ることで、接客など他の業務に注力でき、省力化及びサービス性の向上が期待できます。

今後はお客様にもっと食事を楽しんでいただくべく、音声技術と、人工知能 (AI) を搭載したテーブル専属のコンシェルジュとなるようなセルフオーダーシステムの開発に取り組んでまいります。



8月 AUG スマートフォン・タブレット・各種センサー技術を活用したマイクロマーケット向け無人店舗の実証実験



7月

8月

9月



中期経営計画の概要 (11月6日公表)

ビジョン



計数計画(全社)

サステナブルで収益性の高いサービスへのシフト・継続的な生産性向上への注力により、利益率を改善

(単位:億円)	19年度 見通し	21年度 計画	対19年度 売上高・CAGR 他:差異
売上高	4,800	4,900	101.0%
営業利益 (営業利益率)	200 (4.2%)	270 (5.5%)	+ 70 + 1.3%
純利益	120	160	+ 40
為替レート (円)	US\$ 107.34 EUR 120.84	105.00 120.00	△2.34 △0.84

→ FY22 営業利益率
ターゲット
6.0%

ビジョン実現のための基本戦略

	FY19	FY20	FY21
ソリューション事業拡大		▶ リカーリング・サブスクリプション型ビジネスの強化	
コアビジネス業容拡大		▶ データサービスの事業化	
		▶ 物流・製造領域へのパーティカル展開	
原価低減加速・生産性向上による安定収益体制の構築			

SDGsの取り組み

東芝テックは、店舗・オフィス・物流・製造各領域の課題解決に貢献するソリューションパートナーとして、お客様とともに、SDGs達成に向けた取り組みを推進してまいります。

社会課題

- 地域の経済発展 社会コストの抑制
- 働き方改革・人手不足対応の推進

顧客課題

- EC・実店舗融合
- マーケティング強化
- 店舗・オフィス・物流・製造各領域の業務効率化・生産性向上
- チェックアウト・決済の多様化
- 紙資源の節約
- 食品ロス削減

エコシステム型社会インフラの構築

- 資源利用と廃棄を可能な限り削減

東芝テックグループ SDGsの取り組み

会社概要

会社概況 (2019年9月30日現在)

商号	東芝テック株式会社 TOSHIBA TEC CORPORATION
設立	1950年2月21日
本店所在地	東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー)
連結子会社	国内：8社／海外：71社
資本金	39,970百万円
従業員数	連結：20,017名／単独：3,739名
発行済株式総数	57,629,140株
自己株式数	2,641,179株
株主数	9,644名

役員状況 (2019年9月30日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長	池田 隆之 (社長執行役員)
取締役	井上 幸夫 (常務執行役員) 内山 昌巳 (常務執行役員) 山田 雅広 (常務執行役員) 金田 仁 (常務執行役員) 山口 直大 (執行役員) 武井 純一 (執行役員) 和田あゆみ 桑原 道夫 *1 長瀬 真 *1
監査役	佐藤 吉成 [常勤] 鈴木 道雄 [常勤] 田淵 秀夫 *2 奥宮 京子 *2

執行役員 (取締役兼務者を除く)

執行役員	川村 悦郎 日吉 武司 江口 健 古山 浩之 河野 英治 小山 幸男 鈴木 淳史 平等 弘二 大西 泰樹
------	--

*1 東京証券取引所の定める独立社外取締役であります。

*2 東京証券取引所の定める独立社外監査役であります。

株式事務についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会関係／3月31日 期末配当関係／3月31日 中間配当関係／9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び全国各支店で行っております。

注記

- (1) 記載金額は、原則として億円単位は表示単位未満を四捨五入、百万円単位は表示単位未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 事業別売上高は、事業間の売上消去前にて表示しております。
- (3) 業績予想については、2019年11月6日に公表した内容を記載しております。これは、当社が公表日現在入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。



東芝テック株式会社

当社WEBサイトにて株主様、投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



投資家情報 (IR)

株価、株式情報、財務・業績、IR資料等の情報をご紹介します。

社会・環境活動 (CSR)

環境、社会貢献活動などのCSR活動をご紹介します。また、CSR報告書等も掲載しています。

<https://www.toshibatec.co.jp/>